第 41 講
第一次世界大戦への道

1

(1)〔　　〕年ドイツ帝国首相となったビスマルクの外交政策の基本はアルザス＝ロレーヌ奪還を狙う(2)〔　　〕の孤立化だ。

そのために(3)〔　　〕年に(4)〔　　〕・(5)〔　　〕を誘い(6)〔　　〕同盟を，(7)〔　　〕年には(8)〔　　〕・(9)〔　　〕と(10)〔　　〕同盟を結ぶ。パン＝ゲルマン主義の中心オーストリア＝ハプスブルク家とパン＝スラヴ主義の中心ロシア＝ロマノフ家のバルカン半島を舞台にした対立が深刻なものとなり三帝同盟が破綻すると，(11)〔　　〕年には(12)〔　　〕と単独で(13)〔　　〕条約を結びロシアをつなぎ止めた。これがビスマルク的国際体制（1871 〜 1890 年）だ。

ビスマルクの内政はアメとムチ。

ムチは南ドイツの(14)〔　　〕教徒の(15)〔　　〕との(16)〔　　〕。またユンカー（地主貴族）出身だからマルクス主義には厳しく(17)〔　　〕（(18)〔　　〕年）で世界初の社会主義政党の(19)〔　　〕を非合法化した。アメに相当するのが(20)〔　　〕で種々の保険・年金の制度を整えた。1879 年にはアメリカからの穀物の流入に抗し(21)〔　　〕を制定した。

1888 年初代ドイツ帝国皇帝ヴィルヘルム１世が死去，子のフリードリヒ３世も急逝，その子(22)〔　　〕が即位した。

(23)〔　　〕年に満期を迎えたロシアとの再保障条約を更新し引き続きフランスを牽制（けんせい）すべしと構えたビスマルクに対し若き皇帝（カイザー）(24)〔　　〕世は破棄を主張した。またカイザーは社会主義にも寛容だった。

結局(25)〔　　〕年にビスマルクは更迭される。ドイツ帝国の責任内閣制度が首相は皇帝にたいし責任を負うものだったからだ。

解答

（1）1871　（2）フランス　（3）1873　（4）オーストリア　（5）ロシア
（6）三帝　（7）1882　（8）オーストリア　（9）イタリア　（10）三国　（11）1887
（12）ロシア　（13）再保障　（14）カトリック　（15）中央党　（16）文化闘争
（17）社会主義者鎮圧法　（18）1878　（19）ドイツ社会主義労働者党　（20）社会政策
（21）保護関税法　（22）ヴィルヘルム２世　（23）1890　（24）ヴィルヘルム２
（25）1890

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

マルクス主義政党は合法化され，(26)〔　　〕として再編成された。

そして再保障条約が更新されなかったので，ビスマルクが懸念したとおり (27)〔　　〕が成立した((28)〔　　〕年)。

(29)〔　　〕年には (30)〔　　〕同盟が成立した。ロシアの東シナ海への南下が共通の脅威となったからだ。

ヴィルヘルム２世は「(31)〔　　〕」をスローガンに (32)〔　　〕(海相 (33)〔　　〕がイギリスとの建艦競争を激化）を展開した。これを脅威と感じ (34)〔　　〕年には (35)〔　　〕(英の (36)〔　　〕，仏の (37)〔　　〕における権益の相互承認)，(38)〔　　〕年には (39)〔　　〕(英の (40)〔　　〕，露の (41)〔　　〕，(42)〔　　〕は相互不干渉）が結ばれ，**三国協商が完成し**，こうして**ドイツ包囲網が張り巡らされた。**

解答

(26) 社会民主党　(27) 露仏同盟　(28) 1891　(29) 1902　(30) 日英

(31) 新航路　(32) 世界政策　(33) ティルピッツ　(34) 1904　(35) 英仏協商

(36) エジプト　(37) モロッコ　(38) 1907　(39) 英露協商

(40) カージャール朝イラン南部とアフガニスタン　(41) カージャール朝イラン北部

(42) チベット

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2 分割以前のアフリカ

ナイル川流域では，前８世紀に(1)〔　　〕がエジプトを一時支配し首都メロエに最古の鉄工場がつくられピラミッドもつくられた。

４世紀にクシュ王国を征服したのが(2)〔　　〕で紅海・地中海貿易で繁栄した。(3)〔　　〕派のキリスト教を取り入れエチオピア教会が成立した。８世紀にはイスラーム教が流入した。

ニジェール川流域では，(4)〔　　〕がサハラの(5)〔　　〕とギニア産の(6)〔　　〕を交易し繁栄したが，11世紀に現モロッコ・マラケーシュの(7)〔　　〕朝の攻撃で衰退した。

14世紀には**マンサ＝ムーサ**王のもと黒人イスラーム教国(8)〔　　〕が繁栄しカイロのマムルーク朝と交流，(9)〔　　〕が来訪した。マリ王国を征服したのが(10)〔　　〕だ。(11)〔　　〕にイスラーム神学研究のために大学がつくられた。首都はガオ。

アフリカ東海岸都市は，北から(12)〔　　〕（現ケニア）・モンバサ・ザンジバル（現タンザニア）・キルワを覚えよう。アッバース朝でザンジュ（黒人奴隷）の乱が起こるが**ザンジバル島**から供給された奴隷たちの反乱だ。これらの都市はイスラーム商人との(13)〔　　〕交易に従事し，金・象牙・奴隷を輸出した。**バントゥー語にアラビア語の語彙が加わり**(14)〔　　〕（海辺の人の意）が成立した。

ザンベジ川流域には石造建築で有名な(15)〔　　〕を中心に(16)〔　　〕が栄えイスラーム商人と交易，ジンバブエ遺跡からは中国物産も発掘された。

【イギリス】イギリスの宣教師で探検家の(17)〔　　〕はヴィクトリア瀑布を発見した。消息不明になった彼を救出したのが**アメリカの探検家**(18)〔　　〕。

イギリスはアフリカ大陸縦断政策(19)〔　　〕～(20)〔　　〕をつなぐ。インドの(21)〔　　〕と合わせ**３Ｃ政策**となる。

フランス人(22)〔　　〕が(23)〔　　〕年に開削した(24)〔　　〕の株を(25)〔　　〕年**英首相**(26)〔　　〕がユダヤ財閥(27)〔　　〕と絡み買収すると，エジプトで(28)〔　　〕が起きる。それはイスラームの大同団結をめざすパン＝イスラーム主義の精神的指導者(29)〔　　〕の影響である。

イギリスが(30)〔　　〕に南下すると，(31)〔　　〕が(32)〔　　〕（救世主）を宣言し反乱を指導，(33)〔　　〕の乱の時の(34)〔　　〕の(35)〔　　〕が**ハルツーム**で戦死した。

解答

（1）クシュ王国　（2）アクスム王国　（3）コプト　（4）ガーナ王国　（5）岩塩（がんえん）
（6）金・象牙（ぞうげ）　（7）ムラービト　（8）マリ王国　（9）イブン＝バットゥータ
（10）ソンガイ王国　（11）トンブクトゥ　（12）マリンディ　（13）ダウ船
（14）スワヒリ語　（15）ジンバブエ　（16）モノモタパ王国　（17）リヴィングストン
（18）スタンリー　（19）カイロ　（20）ケープタウン　（21）カルカッタ
（22）レセップス　（23）1869　（24）スエズ運河　（25）1875　（26）ディズレイリ
（27）ロスチャイルド家　（28）ウラービー運動　（29）アフガーニー　（30）スーダン
（31）ムハンマド＝アフマド　（32）マフディー　（33）太平天国　（34）常勝軍
（35）ゴードン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

フランスのアフリカ横断政策と(36)〔　　〕年と**南スーダン**で衝突。(37)〔　　〕という。**フランスが譲歩**しスーダンはイギリスの勢力圏となった。イギリスは，(38)〔　　〕(現ガーナ) も攻略した (1901年)。また(39)〔　　〕も勢力圏においた。

(40)〔　　〕年の(41)〔　　〕で(42)〔　　〕がナポレオン１世の弟のオランダ支配からイギリスに移り，のちに(43)〔　　〕が同地の首相となった。**オランダ系移民**の子孫(44)〔　　〕人は内陸部に(45)〔　　〕(大移動) し(46)〔　　〕と(47)〔　　〕を建国した。ここに(48)〔　　〕そして(49)〔　　〕が発見されると，植民相(50)〔　　〕指導で(51)〔　　〕(ブール･南ア) 戦争 (1899～(52)〔　　〕年) で侵略した。セシル＝ローズにちなむ(53)〔　　〕(**現在北がザンビア・南がジンバブエ**) もイギリスの勢力圏だったからブール人は挟み撃ちになる。典型的な帝国主義戦争に国際的非難を浴び(54)〔　　〕を放棄したイギリスは(55)〔　　〕年に(56)〔　　〕を結ぶ。前年(57)〔　　〕も世を去り大英帝国が斜陽の季節を迎える。

(58)〔　　〕年イギリスは(59)〔　　〕・(60)〔　　〕・(61)〔　　〕・(62)〔　　〕州から成る(63)〔　　〕を成立させた。白人のブール人が(64)〔　　〕として勢力を増したことが1948年の(65)〔　　〕(人種隔離政策) の法制化につながる。

【フランス】フランスは(66)〔　　〕世の(67)〔　　〕年に(68)〔　　〕を攻略，(69)〔　　〕年の(70)〔　　〕の取り決めに基づき(71)〔　　〕年(72)〔　　〕を保護化した。アフリカの角ソマリランドの(73)〔　　〕を領有し (1888年) 横断政策の東端となった。また(74)〔　　〕も領有した (1896年)。

(75)〔　　〕年の(76)〔　　〕でフランスに優先権が認められた(77)〔　　〕の(78)〔　　〕にドイツ皇帝(79)〔　　〕世が入港し威嚇した ((80)〔　　〕年の第１次モロッコ事件)。1906年の(81)〔　　〕でドイツのモロッコ進出は頓挫する。

こりないヴィルヘルム２世は(82)〔　　〕年に今度は(83)〔　　〕に軍艦を派遣 (第２次モロッコ事件)。業を煮やしたフランスは(84)〔　　〕年に(85)〔　　〕を保護化した。

解答

(36) 1898　(37) ファショダ事件　(38) アシャンティ王国　(39) ナイジェリア
(40) 1815　(41) ウィーン議定書　(42) ケープ植民地　(43) セシル＝ローズ
(44) ブール (ボーア)　(45) グレート＝トレック　(46) オレンジ自由国
(47) トランスヴァール共和国　(48) ダイヤモンド　(49) 金
(50) ジョセフ＝チェンバレン　(51) 南アフリカ　(52) 1902　(53) ローデシア
(54) 光栄ある孤立　(55) 1902　(56) 日英同盟　(57) ヴィクトリア女王　(58) 1910
(59) ケープ　(60) オレンジ　(61) トランスヴァール　(62) ナタール
(63) 南アフリカ連邦　(64) アフリカーナー　(65) アパルトヘイト　(66) シャルル10
(67) 1830　(68) アルジェリア　(69) 1878　(70) ベルリン会議　(71) 1881
(72) チュニジア　(73) ジブチ　(74) マダガスカル島　(75) 1904　(76) 英仏協商
(77) モロッコ　(78) タンジール　(79) ヴィルヘルム２　(80) 1905
(81) アルヘシラス国際会議　(82) 1911　(83) アガディール　(84) 1912
(85) モロッコ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ドイツは (86)〔　　〕（現ナミビア）・(87)〔　　〕（タンガニーカ，現タンザニア）の合計４箇所。

イタリアは (88)〔　　〕（1911 ～ 12 年の (89)〔　　〕で (90)〔　　〕から獲得，現 (91)〔　　〕）の３箇所。

ポルトガルが (92)〔　　〕の２箇所。

ベルギーは (93)〔　　〕世が (94)〔　　〕の (95)〔　　〕川流域探検を援助し領有。列強（れっきょう）の反発に (96)〔　　〕開催の (97)〔　　〕（(98)〔　　〕～ 1885 年）で**先に占領した国が領有できる原則（先占権）を確認**した。ベルギー領 (99)〔　　〕は (100)〔　　〕年に列強に承認された。

第一次世界大戦勃発時の独立国は (101)〔　　〕と (102)〔　　〕の２つ。エチオピアは (103)〔　　〕年の (104)〔　　〕の戦いで (105)〔　　〕を撃退。リベリアは (106)〔　　〕年に (107)〔　　〕の奴隷解放協会がつくった国だ。

解答

(86) トーゴランド・カメルーン・南西アフリカ　(87) 東アフリカ
(88) エリトリア・ソマリランド・トリポリ・キレナイカ　(89) イタリア＝トルコ戦争
(90) オスマン帝国　(91) リビア　(92) アンゴラ・モザンビーク　(93) レオポルド２
(94) スタンリー　(95) コンゴ　(96) ビスマルク　(97) ベルリン会議　(98) 1884
(99) コンゴ自由国　(100) 1908　(101) エチオピア　(102) リベリア　(103) 1896
(104) アドワ　(105) イタリア　(106) 1847　(107) アメリカ合衆国

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 41 講　テスト

1　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　再保障条約

②　三国同盟

③　三帝同盟

④　露仏同盟

2　社会主義者鎮圧法制定の年は。

①　1878

②　1879

③　1880

④　1885

3　古い順に並べかえた場合に３番目にくるのは。

①　英仏協商

②　英露協商

③　日英同盟

④　ビスマルク更迭

4　西アフリカ内陸部でフランス帝国主義に激しく抵抗したジハードの指導者は。

①　ヤヤ＝トゥーレ

②　コロ＝トゥーレ

③　サモリ＝トゥーレ

④　ドログバ

5　サハラ砂漠に 1890 年代に進出した国は。

①　イギリス

②　フランス

③　ドイツ

④　オランダ

第 41 講　テスト解答

1　①　　2　①　　3　①　　4　③　　5　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。